

第 1744 圖

なでしこ科



ふちなでしこ  
一名 はまなでしこ (同名アリ)  
*Dianthus japonicus* Thunb.

諸州ノ海岸地或ハ其附近ニ生ズル多年生草本ニシテ莖ハ通常數條叢生シテ直立シ高サ20-50cm許ニシテ強壯ナリ。葉ハ對生シテ極メテ短柄ヲ有シ、卵形乃至長橢圓形ニシテ短銳頭、長サ2-8cm許、厚クシテ光澤アリ。根生葉ハ層生シテ往々長大ナリ。七八月ノ候莖頂ニ聚繖花序ヲ成シテ多數ノ紅紫色花ヲ密集ス。萼ハ圓筒狀ヲ成シ長サ1.5-2.5cm、先端五裂シ、萼下ノ小苞ハ先端尾狀ニ尖リ萼筒ノ半長ニ達ス。花瓣ハ五片、倒卵形ニシテ上端ニ細齒牙ヲ有シ、長サ6mm内外、基部ハ長キ花爪ト成ル。十雄蕊。二花柱。蒴果ハ宿存萼ヲ伴ヒ圓筒形ニシテ先端四裂ス。此種往々園中ニ栽培セラレ切花用ニ供セラル、此栽培品ハ分枝稍疎長ニシテ葉亦長シ、往々白花品ヲ見ル。和名藤撫子ハ其花色ニ基ク、濱撫子ハ海邊ニ生ズルヨリ云フ。

第 1745 圖

なでしこ科



ひめはまなでしこ  
一名 りうきうかんなでしこ  
*Dianthus kiusianus* Makino.

我國南部ノ海邊岩上ニ生ズル多年生草本。根莖ハ長短一ナラズ、木質ニシテ往々粗大ト成リ、下ニ根ヲ下セリ。莖ハ簇生シ、高サ17-30cm、下部ハ往々偃臥ス。葉ハ對生シ生者ハ密集シテ相層リ、倒披針形或ハ筈狀長橢圓形ヲ成シ、底部ハ長キ楔形ヲ呈シ、質稍厚クシテ邊ニ微縁毛ヲ有シ葉面光澤アリテ常緑ナリ、莖生葉ハ漸ク小形ト成リ疎在ス。夏秋ノ候梢上ニ聚繖花序ヲ成シテ數箇ノ紫色花ヲ着ク。花ハ徑2cm、萼ハ圓筒狀ヲ成シ先端五裂シ、萼下ニ四小苞ヲ伴フ。花瓣ハ五片平開シ、下ハ長花爪ヲ成シ、舷部ノ前縁ニ細齒牙アリ。花中ニ十雄蕊、二花柱アリ。和名姫濱撫子ハ濱撫子即チ藤撫子ニ類シテ小形ナルヨリ稱シ、琉球寒撫子ハ琉球ニ産シテ耐寒性ニシテ冬モ綠葉ヲ保ツヨリ云フ。

第 1746 圖

なでしこ科



しなのなでしこ  
一名 みやまなでしこ  
*Dianthus shinanensis* Makino.  
(= *D. bartatus* L. var. *shinanensis* Yatabe.)

本州中部以北ノ高原ニ生ズル多年生草本ニシテ高サ20-40cm、概形あめりかなでしこヲ想起ス。莖ハ鈍稜ノ四角柱ニシテ強剛、赤紫采且ツ微軟毛ヲ被ル。葉ハ廣線形ニシテ先端尖リ、邊縁短毛列生シ底部ハ二葉合シテ短鞘ヲ成ス。花ハ盛夏ノ候莖頂ニ密集セル聚繖花序ヲ成シ、紅紫色ヲ呈ス。花ノ徑1.5cm。萼筒ハ細長クシテ淡綠色ヲ呈シ基部ニハ小苞四片アリテ尾狀ニ尖ル。萼筒ハ披針形、長銳尖頭ヲ呈ス。花瓣ハ五片ニシテ長花爪ヲ有シ、舷部ハ倒卵狀楔狀底ニシテ前縁ニハ細齒牙アリ、内面紅紫色ヲ呈シ、中央喉部ニ近ク毛並ニ濃色數點ヲ飾ル。本種ヲ古クはちぢやうなでしこ(八丈なでしこ)ト稱セシハ産地ノ誤傳ニ基ク。和名信濃撫子ハ本種信州ニ多キヲ以テ名ク、深山撫子ハ深山ニ生ズル故云フ。

せきちく (瞿麥・石竹)  
一名 からなでしこ  
*Dianthus chinensis* L.

舊ク原産地ノ支那ヨリ渡來シ又其後西洋ヨリ種子ヲ傳ヘ今ハ普ク觀賞花草トシテ人家ニ栽培セラルル多年生草本ニシテ通常全株粉綠色ヲ呈ス。莖ハ叢生シテ直立シ高サ30cm内外アリ。葉ハ對生シ、線形又ハ披針形ニシテ銳尖頭ヲ有シ基部ハ對葉相聯合シテ短鞘ヲ形成ス。初夏ノ候梢上ニ疎ニ枝ヲ分チテ美花ヲ着ケ紅白等花色多様ナリ。萼ハ廣圓筒形ニシテ長サ2cm許、先端五裂ス。萼下ノ小苞ハ概ネ四箇、先端ハ長ク尖リ萼筒ト同長或ハ其半長ナリ。花瓣ハ五片、下ハ長花爪ヲ成シテ萼筒ニ入り舷部ノ前縁淺ク剪裂シ、其基部ニ概ネ濃色ノ斑紋ヲ有シ疎ニ鬚毛アリ。十雄蕊。二花柱アリ。蒴果ハ先端四裂シ宿存萼ヲ伴フ。變種ノいせなでしこ一名さつまなでしこ (var. *laciniatus* Koern.)ハ花瓣ノ剪裂片頗ル長ク、同ジクとこなつ (var. *semperflorens* Makino)ハ花瓣濃紅色ニシテ四季ヲ通ジ花ヲ開ク品ナリ。和名ハ漢名石竹ノ音ナリ、唐撫子ハ唐種(支那種)なでし科ノ意ナリ。

第 1747 圖

なでしこ科



おらんだせきちく  
一名 かーねーしょん 舊名 あんじゃべる  
*Dianthus Caryophyllus* L.

徳川時代ニ渡來セル歐洲並ニ西亞細亞原産ノ多年生草本ニシテ觀賞花草トシテ廣ク園中及ビ温室ニ培養セラル。全株粉白色ヲ呈シ、莖ハ直立シ高サ40-50cm許、梢ニ疎枝ヲ分チ、質強健ナリ。葉ハ莖節ニ對生シ、上面縱溝ヲ成セル長線形ニシテ上部漸次ニ長ク尖リ、底部ハ短鞘ヲ成シテ莖節ヲ擁ス。夏日梢上ニ聚繖花序ヲ成シテ數花ヲ開キ芳香アリテ頗ル美ナリ。萼ハ廣圓筒形ニシテ先端短ク五裂ス。萼下ノ小苞ハ數片アリテ稍菱形ヲ呈シ短銳尖頭ヲ成シ長サ概ネ萼筒ノ四分ノ一ナリ。花瓣ハ舷部倒卵形ニシテ前縁淺裂シ、喉外ニ鬚毛ヲ有セス。十雄蕊。二花柱。蒴果ハ卵形ニシテ宿存萼ヲ伴フ。園藝品種甚ダ多ク、花色、大小一様ナラズ、重瓣ノ者廣ク栽培セラル。和名ハ和蘭石竹ニシテかーねーしょんハ西洋ノ俗名 Carnation、あんじゃべるハ和蘭名ノ Anjelierニ基ツク。

第 1748 圖

なでしこ科



あめりかなでしこ  
一名 ひげなでしこ  
*Dianthus barbatus* L.

徳川末葉時代ニ渡來セン歐洲原産ノ多年生草本ニシテ觀賞花草トシテ人家ニ栽植セラル。莖ハ強壯ニシテ直立シ四稜ニシテ高サ30-50cm許アリ、單一或ハ梢ニ分枝ス。葉ハ莖節ニ對生シ基部ハ短鞘ヲ成シテ節ヲ擁シ、廣披針形或ハ長橢圓狀披針形ニシテ下部邊縁ニ微毛ヲ有シ五主脈ヲ具ヘ綠色ナリ。初夏ノ候莖頂ニ極メテ密ナル圓頂聚繖花序ヲ成シ徑1cm許ノ短梗無香多數花ヲ開ク。萼ハ圓筒形ニシテ長サ1.5cm許、先端短ク五裂ス。萼下ノ小苞ハ數片アリテ邊縁膜質ヲ呈シ先端ハ長ク尖リテ尾狀ト成リ略ボ萼ト同長ナリ。花瓣ハ五片ニシテ長花爪ヲ有シ、舷部ハ前縁ニ齒牙アリ、基部ニハ粗鬚毛ヲ布ク、花色概ネ紅ニシテ基部濃色ノ斑紋ヲ有シ、時ニ白色或ハ紋リ等アリ又重瓣ノ者アリ。十雄蕊。二花柱。蒴果ハ宿存萼内ニ在リ。和名ハ亞米利加撫子ニシテ舶載シ來リシなでし科ナルヲ表シ、鬚撫子ハ萼下ニ在ル鬚狀小苞ノ狀ニ基ツク。

第 1749 圖

なでしこ科

